

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	伊丹市新庁舎整備工事	階数	地上6階地下1階
建設地	兵庫県伊丹市	構造	S造
用途地域	第二種住居地域・準住居地域、指定なし(法22条地域)	平均居住人員	1,445 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,210 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2020年8月18日
敷地面積	19,347 m ²	作成者	調、田口、柳田、安倍
建築面積	4,445 m ²	確認日	2020年8月18日
延床面積	21,758 m ²	確認者	大和久、吉村

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =3.2
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 4.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 4.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項

総合

・「市民の安全・安心な暮らしを支える夢と魅力があふれる庁舎」をコンセプトとし、繊細な木調の日射遮蔽フィンが特徴的な外観デザインである。構造としては免震構造を採用、設備に関しては災害が発生した際にも業務可能な機器類を採用した計画となっており、災害復旧復興拠点として機能する。既存庁舎の一部を再利用することでライフサイクルコストを軽減するサステナブルな庁舎となっている。

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

その他

Q3 室外環境 (敷地内)

LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される